

平成31年4月7日
今週のベストショット



青松園グラウンド

平成最後の開幕式は桜の咲き誇る晴天の下行われた。新時代の到来と共に選手の健闘を期待します。

写真：奈多サンデーズ 八島 久徳

奈多グラウンド 2安打1失点完投の池上投手の貢献で三球会が開幕戦勝利を飾る!

三苦三球会 (1勝) 0 1 1 1 0 0 3 池上○-半田

新町ウインズ (1敗) 0 0 1 0 0 0 1 藤田●-今林

三塁打：蓼原、船橋(三) (三球会) **二塁打**：半田(三球会)、野中(新町ウ) **盗塁**：桐島(新町ウ)

桜の花が満開のこの日、とうとう待ちに待った開幕戦。初回、三球会は四球で一人出塁するものの藤田投手の前に三者三振に倒れる。その裏、ウインズも三球会先発の池上投手の前にきっちり3人で仕留められ、今日は投手戦の予感。しかし、二回表三球会は蓼原選手がいきなり三塁打を放つと相手の送球が場外に出てしまいあっけなく1点を先制した。三回表には、二番濱口選手が体を崩されながらもうまいバッティングでセンター前へはじき返すと四番の半田選手がレフトへタイムリーを放ち、2点目を奪った。三回裏、ウインズも先打者の野中選手がライトへ二塁打を放ち出塁し、続く早田選手の犠牲フライで1点を返した。このまま同点に追いつきたいウインズは、桐島選手がセンターへ運びヒットで出塁すると、すかさずスチールを奪うものの後続が倒れこの回1点止まり。逆に、四回表三球会は八番の船橋選手が上手く右中間に打球を運び、三塁打を奪うと後続の堺(達)選手のタイムリーで追加点を奪った。この後もウインズは必死に逆転に向け発奮するが、六回裏にも三球会レフトを守る堺(太)選手のファインプレーが飛び出すなど勢いは三球会に傾いていた。両投手とも10奪三振の好投を見せる引き締まった試合だったが、軍配は三球会に上がった。(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征)



二回表、三塁打を放った養原選手。



三回表、しぶとくヒットで出塁濱口選手。



センター前へはじき返す桐島選手。



三回裏、果敢にスチールを決めた桐島選手。



四回表、右中間へ三塁打を放った船橋選手。



レフト前の打球を捕球、柴田選手。



本日タイムリーを含む2安打に貢献の堺（達）選手。



六回表、逆転を目指し必死なプレーで奮起今林選手。



六回裏、流れを渡さないファインプレーを見せる塚(太)選手。



開幕戦勝利を飾った三苦三球会。



六回 2 安打 1 失点完投の三球会池上投手。



本日のヒーローたち。

青松園A 昨年王者打線爆発！！

三苦ホーネッツ (1勝) 4 5 0 5 0 1 1 川原○、矢野一広木
 和白新町パイレーツ (1敗) 0 0 0 0 0 0 0 川原●一犬濱

二塁打：井出、今田 (三苦ホ) 盗塁：矢野 (三苦ホ)

今シーズンからユニホームが新しくなったチーム同士が対戦となった試合は、初回から昨年王者のホーネッツ打線が大爆発！先頭の矢野選手がフォアボールで出塁すると、ヒットとフォアボールで無死満塁のチャンスを作る。ここで四番広木選手がレフト前へ先制の2点タイムリーヒットを放つ。さらに相手エラーなので初回到4点を先制。その裏なんとか追付きたいパイレーツだったが川原投手の前に三者凡退に打ち取られてしまう。するとまたもホーネッツ打線が大爆発！！ヒットとフォアボールに相手エラーも絡み一死満塁のチャンスを作ると、押し出しと2本のタイムリーで一挙5点を挙げる。パイレーツ打線も佐々木選手、今泉選手の連続ヒットなどで一死満塁のチャンスを作るも川原投手のピッチングの前に無得点に終わってしまう。ホーネッツは四回表にも5点を挙げ、終わって見たら11対0と横綱相撲で開幕戦を勝利した。(記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和)



開幕戦プレイボール。



和白新町パイレーツ先発の川原投手。



三苦ホーネット先発の川原投手。



スラップでヒットを放つホーネット井手選手。



ゴロを軽快にさばくパイレーツ今泉選手。



素晴らしい打球反応でWプレーをとったパイレーツ八坂選手。

青松園B エース不在の中、総力戦で勝利！奈多クラブ！

塩浜ジャガーズ（1敗）0 1 5 1 0 7 小関●一猪野

奈多クラブ（1勝）5 1 1 0 4 11 吉田、馬場口○一安河内

HR：立石2（塩浜ジ）三塁打：安河内、木伏（奈多ク）佐藤（塩浜ジ）二塁打：安河内（奈多ク）

満開の桜と春の心地よい気候の中、毎年何かが起こる開幕戦がプレイボール。ジャガーズ先発は、今期新加入初登板の小関投手。一方の奈多クラブはエース不在にて吉田投手が先発。一回表ジャガーズは、吉田投手の前に三者凡退にて静かなスタート。一回裏奈多クラブは、初登板の小関投手の不安定な立ち上がりを攻めて一番、三番が四死球で出塁し、ここで迎える四番馬場口選手がレフト前タイムリーで先制。続く五番安河内選手もレフト横を抜ける二塁打で2点目。さらに3四球を与えた直後に、一番今林（祐）選手がライト前ヒットを放ち5点を先制。二回表ジャガーズは、二死後に六番佐藤選手がライトオーバー三塁打を放つと、続く池内選手のセンター前タイムリーで1点を返す。二回裏奈多クラブは、八番松田選手がセンター前タイムリーで追加点。1-6で迎えた三回表、ジャガーズ打線は、九番一ノ瀬選手のピッチャー前内野安打、続く二番道喜選手の技ありサード前内野安打、そして昨季より福岡に戻ってきた四番立石選手の今期第1号中越えHRで3点。更に四番末永選手のセンター前、池内選手の犠牲フライ、竹尾選手のライト前で同点に追い付き、押せ押せムードがチーム内に高まる！その裏奈多クラブは、上野選手のレフト前ヒットで1点勝ち越すも、四回表には豪打の四番立石選手が、この試合2本目の左中間柵越え弾を放ち、またまた同点。全員が驚く豪快なアーチを放った！7対7のまま迎えた試合時間終盤の五回裏の奈多クラブは、一死後なんとか踏ん張りたい小関投手が二者連続四球を与えピンチに。ここで本日初回に二塁打を放っている安河内選手が値千金の三塁打を放ち2点差。さらに木伏選手の三塁打でさ

らに2点追加。ここで時間切れ、奈多クラブの勝利となった。この試合、新加入のジャガーズ小関投手は最後までよく投げたが、開幕戦の独特の緊張もあったのか、12四死球を与えたことが敗因。制球力が次回の課題だ。一方の奈多クラブは、エースが不在の中でも、投げては先発吉田投手と抑えて馬場口投手。そして打つべき人がチャンスにて打ったことが勝因と言える。しかし、今期ジャガーズの四番立石選手の打撃には、各チーム要注意であることは確かだ。(写真：ブルーマーリンズ 井上 紘希、記事：末松 勝祝)



開幕戦の両チーム。



奈多クラブ先発の吉田投手。



今期新加入、初登板のジャガーズ小関投手。



一回裏、先制打の馬場口選手。



一回裏、安河内選手の二塁打！



今期一発目の三塁打！佐藤選手！



三回表、新加入、初ヒット！一ノ瀬選手！



三回表、今期第1号、立石選手のHR！



本日2本目のさく越えHR！立石選手！



この試合2本目の特大アーチにてベースを周る立石選手！



サードライナー好捕！末永選手！



試合は負けだが晴れやかな笑顔の水流監督。



本日のヒーロー！左より、馬場口選手、吉田投手、松田選手！



本日の立役者、右から同点打の竹尾選手と2ホームーの立石選手！

第 1 週編集後記